

I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行ったり、自己と他者との対話を深めたりしながら学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

II 「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
・地域課題「防災」に関する各学年で決めた課題(目的)を具体的にイメージできる。 ・校外学習や出前授業、調査活動等において、知りたいことを明確にし、取材できる。 ・課題を解決するための手段や流れなどの道筋、必要な情報を理解する。 ・課題解決に向けた取り組みの結果(成果や課題)に気付くことができる。	・地域課題「防災」に関する課題の設定及び発信方法、体験的に学べる方法を模索し、計画立案、実行できる。 ・計画を実行するために必要な情報を集めることができる。 ・収集した情報を整理したり、活用したりすることができる。 ・相手や目的に応じて、学んだことや考えを分かりやすく工夫しながら表現することができる。 ・今年度の取り組みや地域活性化に向けた企業や施設との取組などを受け、実現可能な地域課題を設定する。	・やるべきことを理解し、他者と協働しながら、探究活動に取り組むことができる。 ・自身や他者の強みを生かしながら、より良い地域づくりをしようとする。 ・地域をより良くするための探究活動を通し、成果に気づき、社会の一員として、どのような地域にしていきたいか、そのために、自身が何をできるか考えることができる。 →自分の価値を自覚し、社会参画や貢献意欲を持つ。

III 「総合的な探究の時間」の単元計画の概要

目標を実現するにふさわしい探究課題	イ	地域をより良くしよう ～「防災」で私たちができること～		
単元目標	地域資源の活用や施設等との関わりを通して、身近な地域の特徴（環境や資源、魅力や課題等）を理解し、「防災」の視点で、課題の解決と地域生活を豊かにするために自身ができることを考えるとともに、社会と自身のつながりを感じることができるようにする。			
月	主な内容		探究の過程	時数
6	・先輩方が考えた地域課題やS-TEAM事業での取り組み、学習した内容、釧路の環境を踏まえ、「防災」の視点から探究テーマを検討する。		課題の設定	2
	・防災センターで学習できること、知りたいことなどを調べ、整理する。		情報の収集	1
	・学んだことをどのように地域に生かしていくか考え、大きなテーマを決める。		整理・分析 課題の設定	2

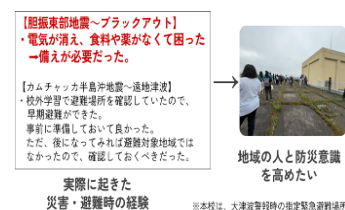
7	・テーマに合わせ、必要な情報や知りたいことを検討し、質問内容をまとめる。	情報の収集	1
	・防災センターに行き、防災体験やインタビューを行い、情報を収集する。	情報の収集	4
	・校外学習での気づきや学びを防災ノートにまとめる。	整理・分析 まとめ・表現	6
8	・地域の現状と課題解決のための情報収集の方法や自分たちが地域のためにできることを再検討する。(効果的な発信方法や学校祭で体験的に分かりやすく説明できる企画や内容を考える。)	課題の設定 情報の収集 整理・分析	4
	・地域の現状やニーズを把握するために、アンケート等を実施する。		4
10	・自分たちの取り組みや企画を実行するための計画を立てる。 (学校祭の企画案・他の発信方法の検討)	整理・分析	4
11	釧路市の職員などが講師となる出前授業や施設等の職員とのオンラインインタビューなどを検討し、情報収集を行う。	情報の収集	4
	・企画した取り組みを実行する。(準備を進める。) ・ここまででの取り組みを発表するため、パワーポイント等でまとめる。	整理・分析 まとめ・表現	10
	・学校祭にて、来場者向けに企画を実施する。 来場者にアンケートを実施する。	まとめ・表現 情報の収集	4
1	・探究内容や結果を基に、自分たちの取り組み結果(成果と課題)を振り返る。	整理・分析	4
2	・まとめた取り組み結果を生かし、地域の施設等に依頼し、呼びかけポスターを設置したり、SNSを活用して情報発信したりする。 (イベントへの参加)	情報の収集 整理・分析 まとめ・表現	6
3	・今年度の探究活動を振り返り、成果と課題を踏まえ、次年度以降の目指したい地域像や取り組みたいこと、できることなどについて意見を出し合う。 ・出た意見をまとめる。	整理・分析 まとめ・表現 課題の設定	4

- (注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
- 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号を入力すること。
- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な学習
- イ 地域や学校の特色に応じた課題
- ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
- エ 職業や自己の進路に関する課題
- オ その他
- 3 「探究の過程」の欄には、「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」のいずれかを入力すること。

I 学習の様子

【課題の設定】6月

釧路地域では大規模地震の発生が想定されており、本校は大津波警報発令時の指定緊急避難場所となっている。こうした状況や過去の地震、ブラックアウトの経験を踏まえ、地域の防災意識を高めることを目的に、「防災・環境」をテーマとした探究活動を設定した。



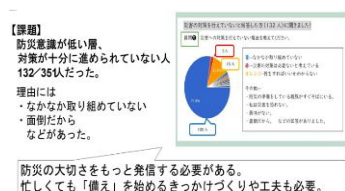
【情報の収集】7～9月

釧路市民防災センターでの校外学習や、釧路市総務部防災危機管理課による出前講座を通して、防災・減災について学習した。また、地域の防災意識や不安の実態を把握するため、釧路地域でGoogleフォームと紙面による防災アンケートを実施し、351名から回答を得た。



【整理・分析】9～10月

アンケート結果から、多くの人が災害に不安を感じている一方で、十分な対策ができていない実態が分かった。寄せられた質問や意見を整理し、防災の正しい知識や学ぶ機会を広げる必要があるという課題を見出した。これらの結果や校外学習、出前講座での学びを生かし、地域の方が体験を通して防災について学ぶ活動を検討した。



【まとめ・表現】11～12月

文化祭において、防災をテーマとした体験型ブースを企画・実施した。巨大防災すごろくや防災グッズづくり、防災講義、動画発表などを通して、来場者が楽しみながら防災を学べるよう工夫した。また、SNSによる防災動画の発信にも取り組み、地域への情報発信を行った。



II 探究活動の成果

- ・校外学習や出前講座、防災アンケートを通して、防災に関する地域の実態や課題を具体的に把握することができた。また、課題解決に向けて必要な情報を考えるなど、思考の深まりが見られた。
- ・文化祭での体験型企画では、「備えを見直すきっかけになった」「防災意識が高まった」などの感想が寄せられ、地域住民の防災への関心を高めることにつながった。
- ・探究活動の過程を可視化し、地域の方や関係機関と連携することで、生徒が社会とのつながりを実感し、自己有用感や主体的に学ぶ姿勢の育成につながった。

III 今後に向けて

- ・地域の不安や質問に応えるため、防災危機管理課と連携し、SNSや動画など多様な方法で防災情報を発信する。
- ・次年度は全学年で「防災」をテーマに探究活動を行い、学年間の系統性を踏まえて学習内容や教育課程を見直し、ゆとりのある時間配分の中で探究活動の充実を図る。
- ・学校祭での発信や他校との交流を通して、地域と連携した継続的な探究活動を推進する。
- ・生徒の強みや特性に応じた手立てを具体化するとともに、探究サイクルや情報活用に関する校内研修を充実させ、伴走者としての力量を高める。